

浜田市立三階小学校 心に残る文化財子ども塾

5月20日(金)には、浜田市立三階小学校に伺いました。6年生36名のみなさんです。3校時には奈良時代の浜田についての歴史講話と和同開珎作りを行い、4校時には大仏パネルを組み立てました。和同開珎作りは、ナベで溶かした合金をシリコン製の鋳型に流し込み、銀色に輝く和同開珎を作り出す体験。大仏パネルは、1辺1m 四方のシート188枚を台座の部分から上へ上へと積み上げ、総高18mの立派な大仏さまを完成させるもの。学校のふだんの授業ではなかなかできないこういう体験活動を通して、歴史や文化、文化財に興味を持ってくれると嬉しいですね。



▲ 溶けて液体状になった合金の流し込みです！



▲ 鋳型を開けたら、和同開珎のでき上がり！



▲ 大仏さまの足もとまでできた感じです！



▲ 完成です。さあ、思い思いの場所で記念撮影！

【学習後の感想】

- ・グループのみなんで和同開珎を作って上手にできてうれしかったです。昔のお金を作っている人はたいへんだなあと分かりました。〔児童〕
- ・川柳「人々が 願いをこめた 大仏だ」〔児童〕
- ・川柳「文化塾 楽しすぎるな 思い出だ」〔児童〕
- ・瓦をもってきていただいたことはとてもよかった。やはり、実物を見ると子どもたちの心は動かされると思う。「住んでいる地域では実はこういう風な感じだったんだよ」と言われると興味がわくと思う。よって今後も実物や地域限定の話を今回みたいにしていってほしいなと思う。〔先生〕

浜田市立三階小学校6年生のみなさん、先生方、ありがとうございました！